

2026年5月21日

関係者各位

一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会

2026年度歯科衛生士専任教員講習会Ⅱ開催のお知らせ

一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会  
理事長 合場 千佳



拝 啓

新緑の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本協議会の事業として、別紙の要領で「歯科衛生士専任教員講習会Ⅱ」を朝日大学にて開催いたします。

つきましては、万障お繰り合わせの上、講習会にご参加頂きますようお願い申し上げます。

受講希望者は別紙申込書を 2026年6月12日（金）事務局必着にてご郵送ください。

（簡易書留またはレターパック、宅急便など、必ず追跡可能な方法にてお送りください。）

なお、期日までに申込書類が到着しない場合、いかなる事情であっても受付はいたしませんので、なるべく早めのお申込みをお願いいたします。

今年度も定員90名・全5日間集合型開催とさせていただきます。また、定員を超過する場合は抽選で受講者を決定いたします。定員に空きがある場合は複数名での受講もお受けいたしますので、第一希望者・第二希望者を責任者が申込書に記入（8の項目のみ）してください。

どうぞよろしくお願いいたします。

敬 具

## 2026年度歯科衛生士専任教員講習会Ⅱ実施要領

歯科衛生士学校・養成所において主として、その実技教育を担当している専任教員の指導能力を充実し、歯科衛生士の資質の向上をはかることを目的として講習を行う。

本年度は以下の要領によって実施する。

1. 講習会場：朝日大学歯科衛生士専門学校  
〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積 1851  
Tel：058-329-1041 担当 山田 小枝子
2. 期 間：2026年8月3日（月）～8月7日（金） 5日間
3. 定 員：90名
4. 講習日程：別紙
5. 申込方法  
受講については、専任教員講習会Ⅰ・Ⅱのどちらを先に受講しても構わない。  
教育施設を通じ、受講申込書を整え、簡易書留やレターパック、宅急便など、必ず追跡可能な方法にて本協議会事務局に申し込むものとする。  
①受講申込書  
②書類送付先：〒170-0003 東京都豊島区駒込 1-43-9  
(一財)口腔保健協会内  
一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 (Tel. 03-3947-8301)
6. 申込締切：2026年6月12日（金）事務局必着  
※締切日に申込書類が届かない場合、いかなる事情であっても受付はいたしません。
7. 受講者の決定および通知  
申込書に基づき本協議会で確認の上、受講者を決定し、2026年7月上旬に通知いたします。
8. 受講料 ¥25,000（宿泊費・交通費・食費は含まれていない）  
※宿泊費高騰の折、宿泊につきましては早目に各自でお取りくださいますよう、  
お願い申し上げます。
9. 修了証書の交付  
本講習会を修了した者には、本協議会の修了証書を交付いたします。

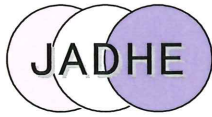
2026年(令和8年)度 歯科衛生士専任教員講習会 (Ⅱ) 日程(案) 2026.5.21現在

期間:令和8年8月3日(月)~8月7日(金)

会場:朝日大学 受講定員 90名

月日	時間	科目名	単位	講師名	概要	教室
8月3日 (月)	9:15~ 9:45	開講式、理事挨拶 オリエンテーション	/	理事・開催校担当者	全国歯科衛生士教育協議会主催の講習会の目的と認定を取得するまでの概要について説明と、5日間の講習会の日程について説明する。	第4大講義室
	10:00~ 11:30	医療倫理・医療安全	2	朝日大学歯学部教授 医科歯科医療センター長 辰巳 順一	医療倫理の基本的概念を理解し、医療職として対象となる人々の権利を尊重し、より質の高いサービスを提供するための方法について学ぶ。 医療現場でおこりうる、インシデントの防止や感染対策について理解し、医療従事者はどのようにして医療における安全対策を行えばよいのかを学生的事例から学ぶ。	
	11:40~ 13:00	昼食会・コミュニケーション トレーニング	/	理事・開催校担当者	昼食をとりながら、受講生同士グループでコミュニケーションゲームを行い、グループディスカッションのための親睦を深める。	
	13:10~ 14:40	歯科衛生学総論	2	日本歯科大学東京短期大学 特任教授 全国歯科衛生士教育協議会理事長 合場 千佳子	医療専門職の教育をヒントに歯科衛生学教育の質を高める歯科衛生学モデル・コア・カリキュラム(令和6年改訂版)の特徴について解説する。また、歯科衛生士概論の授業において『歯科衛生学概論』を用いた授業展開を討議する。	
	14:55~ 16:25	臨床・臨地実習教育法	2	日本歯科衛生士会 副会長 河野章江	効果的な臨地実習を展開できるような教育内容、評価および実習先、実習期間等について考察する。実習先との連携のとり方や臨地実習を指導する立場の歯科衛生士と協働についても考える。実習内容の具体例を提示しながら教育の取り組みを理解する。実際に、臨床・臨地実習を受け入れている歯科衛生士が担当することが望ましい。事例をとおして学生指導におけるコミュニケーション能力について考察する。日本歯科衛生士会の組織に所属することの重要性についても学ぶ。	
8月4日 (火)	9:00~ 10:30	口腔健康管理	2	嚙下リハサポート 大野木宏彰	言語聴覚士の立場から、摂食嚙下リハビリテーションの基礎について講義してもらう。また現場において歯科衛生士が実践する口腔健康管理について、教育の必要性や現場に期待することについて話をしてもらう。また頸部聴診や訓練の実際、訓練に有効なストレッチなどについて、簡単な実習とともに紹介する。	第4大講義室
	10:45~ 12:15	教育原理・教育心理・ 学生指導	2	神奈川歯科大学 教授 大島 昭宏	教育に携わる者としての基本的な姿勢を学ぶ。教育の理念や教育の構造・機能や、現在の教育観および今後の教育に求められる授業展望を理解し、教育における心理とは何かについて学習する。また教育実践者としての視点を学ぶとともに、事例をとおして学生指導におけるコミュニケーション能力について考察する。I からIVまでをシリーズで学ぶ。	
	13:10~ 14:40	行動科学	2	AtoE 竹ノ内 茜	高校生人口が減少し、歯科衛生士養成校への入学希望者の学習意欲と学力が低下の傾向にある。入学後いかに早期から目標を持たせ、自主的に学習を行う環境を作れるか、また教員としてどのように授業を展開したらよいかの学習のヒントを学ぶ。また学生指導における教員のコミュニケーション力について、事例を参考に考察する。	
	14:55~ 16:25	学習方法・学習評価	2	和歌山県歯科衛生士専門学校 校長 池尾 隆	教育者の視点から捉えた授業の展開と方法について理解し、授業をデザインする具体的方法を学ぶことで教育実践の本質を考える。教育者の視点から捉えた授業における評価について理解し、教育評価の具体的方法を学ぶことで教育実践の本質を考える。I ~IVまでシリーズで学ぶ。	
8月5日 (水)	9:00~ 10:30	研究指導法	2	愛知学院大学 教授 大飼 順子	研究の概念や研究計画書の概要、必要な文献の収集方法と活用等について学ぶ。	第4大講義室
	10:45~ 12:15	健康社会学・口腔衛生学	2	東京歯科大学 名誉教授 眞木 吉信	現代の社会的要請に応じるための、新しい健康生活の方法の理解と開発、展開についての概念を学ぶ。家族社会学や医療社会学の領域を含む。歯科衛生士を実践するために、歯・口腔の健康にかかわる社会の仕組みを理解し、歯科疾患の予防能力を高める基礎知識を学ぶ。	
	13:10~ 14:40	歯科医学概論・医療情報	2	日本歯科大学東京短期大学教授 池田 利恵	歯科医療や歯科保健に関するトピックス的な内容にする。平成7年度に厚生労働省から出された「歯科衛生士による浸潤麻酔の実施に向けた研修プログラム」について理解を深めるとともに、今後の歯科衛生士教育で必要とされる知識・技術について学ぶ。	
	14:55~ 16:25	保健・医療・福祉論	2	厚生労働省医政局歯科保健課 課長補佐 堀江 卓	保健・医療・福祉に関する制度や様々な現場での展開、連携と総合化の基本理念を学ぶ。	
8月6日 (木)	9:00~ 10:30	歯科衛生学教育法 1	2	教育委員 満足 愛	【歯科衛生学教育法】 歯科衛生士教育課程における教育計画を編成するために必要な理論的枠組みとその立案課程を理解する。歯科衛生士に必要とされる実践技術を学び講義・実習における指導技術を養う。歯科衛生士が担当する。カリキュラム作成において必要とされる単位の考え方などの基本要素について学ぶとともに、カリキュラムプランニングや、歯科衛生学教育のコア・カリキュラムの活用についてもふれる。  【歯科衛生学1~3】 グループワークを中心に、歯科衛生業務を行うために事例を用いて歯科衛生士に必要な知識・技能・態度に関する指導の実際を学ぶ。教育目標に沿った学習指導計画、教材の選択、作成の方法について学び、講義・実習における指導技術を養う。	臨床系 第2実習室
	10:45~ 12:15	歯科衛生学 1	2	教育委員 原山 裕子 江口 貴子 尾形 祐己 安井真奈美 秋山 恭子 土田 智子 片岡あい子		
	13:10~ 14:40	2				
	14:55~ 16:25	歯科衛生学 2	2			
	16:40~ 18:10	2				
8月7日 (金)	9:00~ 10:30	歯科衛生学 3	2	教育委員 菱沼 清美	修了証授与	第4大講義室
	10:45~ 12:15		2			
	13:00~ 14:30	歯科衛生学教育法 2	2			
	14:40~	閉講式	/			

(38単位)



2026年度 歯科衛生士専任教員講習会Ⅱ 受講申込書

1	ふりがな			生年月日	教員歴	年 カ月	臨 床 歴	年 カ月
	受講者氏名	旧姓	男 女	昭和・平成・令和 年 月 日生				
2	現住所	都道 府県	市 郡			TEL : FAX :		
3	勤務先	所在地					TEL : FAX :	
	校名	校名	代表者	代表者印	※代表者印の押印漏れが多いため、提出の前に再度ご確認ください。			
4	卒業	学校名	(昭和・平成・令和) 年度卒業					
5	免許	登録年月日	昭和・平成・令和 年 月 日	番号				
6	歯科衛生士歴	昭和・平成・令和	年 月 日					
		昭和・平成・令和	年 月 日					
		昭和・平成・令和	年 月 日					
		昭和・平成・令和	年 月 日					
		昭和・平成・令和	年 月 日					
7	講習会受講歴	講習会・研修会名	受講状況		受講年月			
		歯科衛生士専任教員講習会Ⅰ	受講済 ・ 未受講		平成・令和 年 月			
		歯科衛生士専任教員講習会Ⅱ	受講済 ・ 未受講		平成・令和 年 月			
8	貴校の申し込み希望者が複数の場合 (学校責任者をご記入願います)		第一希望者			第二希望者		
9	受講希望者メールアドレス (事前課題・持参物等のご連絡をさせていただきますので、連絡の取りやすいメールアドレスをご記入願います)		第一希望者メールアドレス					
			第二希望者メールアドレス					